

## 新潟市民病院 公開・オプトアウト書式

テンプレート

申請番号 19-005	
研究課題名	閉塞性大腸癌に対するbridge to surgeryとしての大腸ステント治療の検討
情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	術前に大腸ステント治療を行った大腸癌手術症例を後ろ向きに検討しました。 使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化を行い、研究機関(当院)内のみで使用いたします。 研究成果は、学会や論文として報告することがありますが、個人情報公表されることはございません。
利用または提供する情報の項目	診療記録(手術記録、治療経過)
対象者及び対象期間	2013年から2018年に術前大腸ステント治療後、当科で大腸癌手術を施行された方
利用の範囲	新潟市民病院 消化器外科
試料・情報の管理について責任を有する者	新潟市民病院 消化器外科 山崎俊幸
問い合わせ先	新潟市民病院 消化器外科 山崎俊幸 TEL:025-281-5151 FAX:025-281-5169
共同臨床研究機関	
備考	